

2019 NATS EV 競技会 仮エントリー 申 込 書

参加クラス	ジュニア ・ オープン	自作改造	モーター ・ コントローラー
-------	-------------	------	----------------

(該当するパーツに○印をする)

フリガナ チーム名 ※英文20または和文20文字以内	
フリガナ 車 名 ※英文20または和文20文字以内	
フリガナ	
所属(会社・学校名)	
フリガナ	
チーム代表者氏名	
フリガナ	
連絡先	〒 TEL e-mail FAX URL http://
WEMGP他大会への参加歴	競技車両に貼付されているグランプリナンバーを記入して下さい
令和 年 月 日	チーム代表者氏名

※宿泊希望の有無(ジュニアクラスのみ記入) 有(名)・無

2019 NATS EV 競技会実行委員会事務局

○送信先

日本自動車大学校 滑川 正己

FAX番号 0476-73-5508

Email: wem_chiba@nats.ac.jp

事務局記入欄	受付月日	受付番号	記入内容	受 理

参加クラス	ジュニアクラス	自作改造	モーター ・ コントローラー
-------	---------	------	----------------

フリガナ		
チーム名 ※英文20または和文20文字以内		
フリガナ		
車 名 ※英文20または和文20文字以内		
フリガナ		
所属(会社・学校名)		
フリガナ		
チーム代表者氏名		
フリガナ		
連絡先	〒 — TEL FAX e-mail URL http://	
WEMGP他大会への参加歴	競技車両に貼付されているグランプリナンバーを記入して下さい	
傷害保険加入の有無	競技会参加に伴い事務局斡旋の保険に加入	する ・ しない

上記チームのチームメンバー全ては、2019 NATS EV競技会の参加にあたり、関連して起こったあらゆる人的および物的損害について、主催者、競技会本部、並びに競技会を運営する全ての関係機関および関係者に対して、いかなる場合においても非難、責任追及、損害賠償請求をしないことを誓約します。

なお、ドライバーは当該競技に対しての標準能力を有し、円滑に競技参加できることを確約します。

事務局記入欄	
受付月日	
受付番号	
参加費	
必要書類	
記入内容	
保険加入	
参加受理	

ここに参加費を送金した際の明細書や受領書の複写(コピー)を貼り付けてください。入りきれない場合はこの用紙の裏面をご利用ください。

ゼッケンNo.
※ ※事務局記入

2019 NATS EV 競技会
ドライバー登録書

チーム名

車 名

チーム代表者氏名

フリガナ		生年月日	年齢
氏 名		年 月 日	歳
住 所	〒 ー		
TEL			

フリガナ		生年月日	年齢
氏 名		年 月 日	歳
住 所	〒 ー		
TEL			

フリガナ		生年月日	年齢
氏 名		年 月 日	歳
住 所	〒 ー		
TEL			

※年齢は、令和1年11月2日現在の年齢をご記入ください。

ゼッケンNo.
※

※事務局記入

2019 NATS EV 競技会
チームメンバー登録書

総参加人数

チーム名

名

1	フリガナ		生年月日	年齢	性別
	氏 名		年 月 日	歳	男 女
2	フリガナ		生年月日	年齢	性別
	氏 名		年 月 日	歳	男 女
3	フリガナ		生年月日	年齢	性別
	氏 名		年 月 日	歳	男 女
4	フリガナ		生年月日	年齢	性別
	氏 名		年 月 日	歳	男 女
5	フリガナ		生年月日	年齢	性別
	氏 名		年 月 日	歳	男 女
6	フリガナ		生年月日	年齢	性別
	氏 名		年 月 日	歳	男 女
7	フリガナ		生年月日	年齢	性別
	氏 名		年 月 日	歳	男 女
8	フリガナ		生年月日	年齢	性別
	氏 名		年 月 日	歳	男 女
9	フリガナ		生年月日	年齢	性別
	氏 名		年 月 日	歳	男 女
10	フリガナ		生年月日	年齢	性別
	氏 名		年 月 日	歳	男 女

※太枠内には、チーム代表者氏名をご記入ください。
※年齢は、令和1年11月2日現在の年齢をご記入ください。
※記入欄が不足の場合は、複写して提出してください。

ゼッケンNo.
※ ※事務局記入

2019 NATS EV 競技会
参 加 承 諾 書

NATS EV競技会 実行委員会 様

下記の者が2019 NATS EV競技会に参加することを保護者として承諾します。

メンバー氏名				
保護者	氏 名	印	続柄	
	住 所	〒 —		
	TEL			

メンバー氏名				
保護者	氏 名	印	続柄	
	住 所	〒 —		
	TEL			

メンバー氏名				
保護者	氏 名	印	続柄	
	住 所	〒 —		
	TEL			

※参加申込時に未成年のメンバーが入る場合、提出をお願いします。
※記入欄が不足の場合は、複写して提出してください。

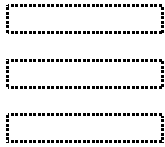
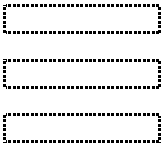
チーム名

チーム代表者氏名

ゼッケンNo.
※ ※事務局記入

2019 NATS EV 競技会
車 両 仕 様 書

チーム名	
車 名	
チーム代表者氏名	

車両寸法	全 長				mm
	全 幅				mm
	全 高				mm
	ホイールベース				mm
	トレッド	前 輪	mm	後 輪	mm
	車両重量(ドライバー含まず)				kgf
	最低地上高				mm
車体・構造	フレーム(タイプ・材質)				
	ボディー材質				
	ホイール(サイズ・材質)				
	タイヤ(サイズ・メーカー・タイプ)				
	ホイールおよびブレーキの配置 右図の破線を実線とし接地輪を示すこと 右図の破線内に○印をしブレーキ装着輪を示すこと	前 輪		後 輪	
	ブレーキ(タイプ)				
	回生ブレーキの有無	有 ・ 無			
	駆動方式				
モーター	メーカー				
	タイプ	V W			
	数 量				
キャパシタ等	メーカー				
	タイプ	F V			
	数量・合成静電容量・総耐圧	個	F	V	

2019 NATS EV 競技会

車検チェックリスト

ゼッケンNo.

チーム名

車 名

チーム代表者氏名

判定基準	
○	OK
△	改善を推奨するがOK
×	要改善(再車検)

※太枠内は車検委員が記入します。

No.	項 目	規 格 等				判 定	サイン
1	ゼッケン	主催者が支給した物が容易に確認できる位置にあること					
2	車体寸法	L3.0×W0.9×H0.9m以内					
3	車両内外の突起	ドライバーおよび他の競技車両に危害を与える突起物がないこと					
4	警笛	警笛が鳴ること					
5	視界	前方視界が直接視界であること、左右後方が確認できるバックミラーを備えていること					
6	自力脱出	外部からの補助を受けずにドライバーが脱出できること					
7	チェーンカバー	駆動用チェーンを使用する場合はカバーか隔壁を設けること					
8	ブレーキ性能	8%の下り勾配で停止できること、または車両総重量の8%の力で引いても停止できること					
9	バッテリー	競技には公式バッテリーを使用すること			競技終了後		
10	バッテリーの結線	確実な搭載・接続と絶縁処理(ブレーカーを入れることを推奨)					
11	その他の配線	パイプ内等を通さず、容易にすべてが確認できること					
12	キャパシタ等	スタート前に放電証明ができる構造であること				スタート前放電チェック	
		合成静電容量・総耐圧			F V		
13	ドライバー重量	55kgf以上		バラスト	kgf	車検時	
14						スタート前	
15	ヘルメット	JISまたはSNELL規格の2輪又は4輪用であること					
16	グローブ	指先まで隠れる物(難燃性を推奨)					
17	服装	長袖長ズボン(難燃性を推奨)					
	靴	サンダル等ではなく、靴であること					

- ・車検は走行可能な状態で行って下さい。その際、搭載するバッテリーは公式バッテリー、もしくはそれに準ずるものであること。
- ・車検時のドライバーの服装は競技時と同じにして下さい。
- ・時間短縮のため、ブレーキテストを手秤による測定が行える車両はその旨を申し出てください。その際、車両総重量(ドライバー含む)を申告してください。
- ・キャパシタ等を搭載した車両は合成静電容量と総耐圧を申告し、電圧測定部を指示して下さい。
- ・必要事項を記入し、車検時に持参して下さい。

申請日：令和 年 月 日

EconoMove 千葉大会事務局 御中

モーター・コントローラーの自作・改造クラス・申請書

チーム名										
代 表 者										
連 絡 先	〒				－					
	TEL	－				－				
	FAX	－				－				
	E-mail	@								

(1) モーターの基本仕様について

形式：

例：ブラシレスモータ

名称	
磁極	
スロット	
電圧	
相数	
直並列及びターン数	

名称	8:9 モータ (磁石:スロット=8:9)
磁極	32 極
スロット	36 スロット
電圧	24V
相数	3 相
直並列及びターン数	3 直 4 並 55T

a. アピールしたいこと（要旨）

--

b. 当大会への展開について（改良点など自由に記載ください。）

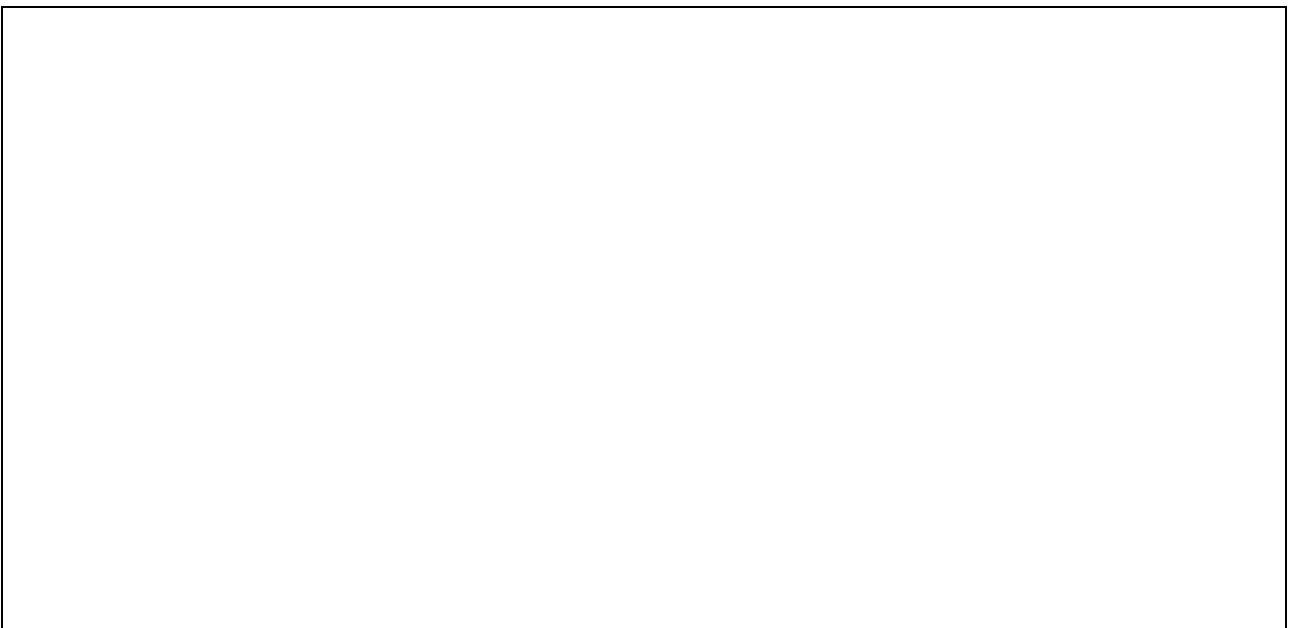


(2) モーター・コントローラーの電気配線図

★添付（貼り付け）してください。



(3) モーターのコアの部分の図面（ローター、ギヤキャップなど自由に記載）



(4) 特機事項（改造の場合、材料（モーターのコア、磁など）

※自由に記載下さい。

--

（補足）

世界で初めての電気自動車の省エネレース（2時間の走行）から21年間が経ち、秋田県大湯村の大会（約100wh）でのトップチームの記録（63.798km）は約1.5倍に、一般道に近似した宮城県菅生サーキット（約250wh）の記録（42.6km）は、約2倍に記録が更新されています。同じ電気エネルギー、同じ走行時間での記録は、そのまま省エネ機器（電気自動車）の開発をしたこととなりますが、走行距離が増えた分だけスピードが増し、その部分だけ安全対策が必要になっており、安全装備について各対策を推進しています。

- ・駆動用バッテリーの固定の確実性確認
- ・車体から腕や手がでない構造とすること。
- ・危険と思われる露出物について配慮する。（いかなる部分も車内の空間に突出させてはならない。）
- ・制動灯（赤色）は後部中央1灯もしくは左右に2灯
- ・ブレーキテストの実施（30km/h以上で13m以内停止）

また、ものづくり及び技術者育成の観点から、モーターの自作部門クラスの設定や特別賞など推進、検討しています。背景として、ガソリン車もディーゼル車も、モータリゼーションの柱でしたが、「モーターと組み合わせる」という仕組みはこの20年で大きく進化しています。“100%ピュアEV”の世界はいずれ訪れます。現在でも市販車でも車はモーターが主動力の時代に入り、車メーカーも自社で独自の開発が進められてきています。

一般的にも、「温暖化対策と経済成長の両立には省エネが極めて重要な役割を占める。」と指摘されています。

最初は、特別賞として扱い、その後、自作部門クラスの設定を検討しています。更にグランプリの大会でのポイントにすることも検討中です。

エントラントとオフィシャルが一体となって、健全なる電気自動車の普及・促進を目指し、挑戦を繰り返しているのが電気自動車の省エネレース（エコノ・ムーブ）です。

（文責：熊谷枝折）